

市報 あまがさき

令和5年(2023年)3月号 No.1684



笑顔満開の春🌸が来る



Pick up!

長洲幼稚園で(昨年3月撮影)

P2

新たな取り組みを紹介
令和5年度 主要事業

P4

“あまがさき”を次のステージに
松本市長が施政方針を表明

令和5年度に向けた
新たな取り組み
を紹介します！

「第6次尼崎市総合計画」と「財政運営方針」がスタート！ 「ありたいまち」の実現に向けて尼崎を「次のステージ」に

ID1007965 図政策推進課 ☎6489-6124 6489-6793

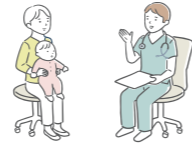
令和5年度は、「第6次尼崎市総合計画」及び「財政運営方針」がスタートする年度です。
3つの注目事業をはじめとして、まちづくり基本計画における4つの主要取組項目と行政運営に沿った事業を実施していくことで、同総合計画に掲げる「ありたいまち」の実現に向けた取り組みを進めます。
なお、ここで紹介する令和5年度主要事業を含む予算案は、現在開会中の市議会定例会で審議されています。
パブリックコメントの結果公表の閲覧については13ページ参照。

Pick Up!

注目
事業

子どもの医療費助成をさらに拡充

- ・令和5年7月から、就学前の子どもの医療費を所得に関わらず完全無償化



インクルーシブな教育・保育を推進

- ・小・中学・高校で、生活介助員を11人増員し77人に
- ・小・中学校で、特別支援教育支援員を10人増員し、各校に1人専任で配置
- ・公立保育所で、医療的ケア児の受け入れを開始



良好な住環境形成に向けた取り組み

- ・外部専門家と意見交換をする住環境アドバイザーボードを設置し、新たな施策の展開につなげる



子ども
教育

子ども・子育て支援と 学校教育の充実

子育て世帯の困りごとに合わせた支援

- ・産後2週間・1カ月の産婦健診費用を助成
- ・妊婦と産後1年以内の子育て世帯にホームヘルパーを派遣

保育支援者の配置を補助

- ・清掃業務や遊具の消毒などを行う保育支援者を配置する法人保育施設を対象に、補助を新設

小学校などに電子黒板を導入

- ・タッチパネル操作などができる電子黒板を導入し、児童の主体的な学習を支える

生きがい
ささえあい

地域共生社会の 実現に向けた環境づくり

社会とつながるための参加支援を充実

- ・さまざまな課題から今ある制度などを利用しにくい人を対象に、就労機会や社会参加の場を提供

障害者支援を充実

- ・障害者施設を対象に、バリアフリー化のための改修などの費用を一部補助
- ・「(仮称)障害児通所支援事業所ネットワーク会議」を設置するなど、事業所の連携促進とサービスの質の向上を図る

脱炭素
経済活性

地域経済の活性化と脱炭素社会の推進

CO2排出量削減と経済活性の両立

- ・事業者を対象に、物価高騰対策と脱炭素社会の実現に向けた省エネ・再エネ設備の導入などを補助

産業イノベーションを目指す会議を設置

- ・外部専門家などと意見交換をする「産業政策会議」を設置し、産業振興や雇用就労支援につなげる

あま咲きコインプレミアムキャンペーン

- ・あま咲きコイン購入時に10%ポイント付与、決済時に5%ポイント還元するキャンペーンを継続して実施

公用車をエコカーに

- ・2040年までに公用車のエコカー導入率100%を目指し、まずは20台導入



魅力
向上・発信

エリアブランディングの推進とイメージの向上

中央公園をリニューアル

- ・民間事業者と協働で中央公園西側部分をリニューアルし、魅力ある駅前空間を目指す



完成後のイメージ

たばこ・ごみなどのマナーを向上

- ・路上喫煙禁止区域の拡大や喫煙所の設置など、総合的なたばこ対策を実施
- ・缶類などの資源物の持ち去りを防止するため、巡回パトロールなどによる啓発・指導を実施
- ・本市のさまざまな部署が連携した「尼崎市マナー向上推進チーム」による啓発キャンペーンなどを実施



行政
運営

デジタル化の更なる推進による市民利便性の向上

情報セキュリティ対策を強化

- ・USBメモリー紛失事案調査委員会の報告書を踏まえた各種セキュリティ対策の強化や委託業務管理の徹底
- ・情報セキュリティとICTに関する専門的な知見のある外部人材を専門職として任用するなど、本市の組織体制を強化

市報あまがさきの冊子版充実・電子版発行

- ・市報あまがさきのカラーページを増量し、特集記事のデザインなどを民間委託することで、より魅力的な誌面に
- ・市報あまがさき電子版(抜粋版)を発行し、さまざまなニーズに対応



”あまがさき”を次のステージに

1007964 国都市政策課 ☎6489・6138 6489・6793

第12回市議会定例会で、松本市長が令和5年度の施政方針を表明しました。
（一）では、施政方針の中から市政運営の基本的な考え方を中心にお伝えします。

昨年12月に尼崎市長に就任をしてから、山積する尼崎市の課題に対し真摯に向き合い、一つひとつ丁寧に解決していくことを心掛けてきました。

令和5年度の予算編成に当たっては、市政は市民の生活を守るためのものとして、どの分野においても支援を必要としている市民がいることをしっかりと念頭に置きながら、財政規律を重視しつつ、必要な施策は確実に手当てをするという思いの下、行政の継続性と新規性のバランスを十分に留意しながら作業を進めました。

一方で、財政運営は、未来志向でなければなりません。尼崎市の持続可能な成長を期し、尼崎市へのファミリー世帯の定住・転入促進、地域経済活性化等、成長と分配の好循環を作り出していくための足掛かりとする観点から、各分野の施策の重点化を図りました。

令和5年の干支である「癸卯」にふさわしい、これまでの努力が花開き実り始め、次の繁栄や成長につながっていくような一年となるよう、所信表明でも申し上げた5つの柱を踏まえながら、各分野の政策を前向きに進めてまいります。

令和5年度予算の主な事業

1. 「子育てのまち」「学びたいまち」あまがさき「子ども・教育」

◆子育て支援

「18歳までの子どもの医療費の無償化」に向けた取り組みの第一歩として、就学前の子どもを対象に、所得に関わらず医療費を完全無償化します。
産婦健康診査費用を助成するとともに、体調不良などにより家事育児が困難な妊娠中及び産後の子育て世帯に対して、ホームヘルパー派遣に係る費用の一部を助成します。

2. 誰もが暮らしやすいまち「生きがい・ささえあい」

◆重層的支援

地域住民の複雑・複合化した支援ニーズに対応するため、重層的支援推進事業に取り組んでいます。その中で見えてきた、個別性の高い支援ニーズにより既存の制度や地域資源を利用することが困難な方への支援を充実させます。

◆障害者(児)支援

支援体制の充実や連携の強化を図るとともに、グループホーム等の利用者の重度化・高齢化に対応するための施設改修への補助などの環境整備を進めます。

◆多文化共生

外国人総合相談窓口における多言語相談員を拡充し、相談窓口の機能向上を図ります。

◆公園等整備

駅周辺の特徴あるまちづくりとして、阪神タイガースファーム施設を含めた小田南公園等の再整備や阪神尼崎駅前

◆地域経済活性化

「あま咲きコイン」については、プレミアムキャンペーンを継続実施するとともに、今後、財源の確保や利便性の向上

◆産業政策

外部専門家会議である「産業政策会議」を設置し、具体的な施策について検討を進めます。



学習用端末を活用したオンライン英会話を実施し、話す力や聞く力を向上させるとともに、外国語学習への興味・関心の向上に努めます。

◆インクルーシブ教育・保育等

公立保育所において医療的ケア児の受け入れが可能となるよう看護師や保育士の配置など、必要な体制を強化します。小・中・高等学校において生活介助員を増員し、生活上の困難に係る支援体制を充実させるとともに、小・中学校においては、発達の特性などにより、個別に支援を必要とする児童生徒が増加していることに伴う支援体制を充実させるため、特別支援教育支援員を1校に1人ずつ配置します。インクルーシブ教育・保育は、予算による体制面の充実と併せて、保育・教育現場におけるインクルーシブの考え方をものを見直していくことも重要な視点であることから、研修の充実・工夫

むすびに

令和5年度は、本市の文化振興の拠点である総合文化センターの耐震化等の改修に向けた取り組みが進む中、近松門左衛門の300回忌の節目となります。こうした機会を捉え、誰もがより尼崎市に魅力を感じ、愛着を持っていただけるよう各種取り組みを進めます。

また、フェニックス事業用地の今後の活用方策も含む兵庫県域の大阪湾ベイエリアの活性化などは、尼崎市産業の活性化や市財政への影響も考慮しつつ、関係者が一体となって取り組むことが重要です。このような、多様な主体で取り組む事業につきましても、アンテナを高く張り、積極的に議論を深めてまいります。

令和5年度からは、「第6次尼崎市総合計画」に基づき、新たなまちづくりが始まります。産業都市としての伝統を大切にしつつ、近年高まりつつある本市の「住むまち」としての評価をさらに高め、誰もが「住みたいまち」、「住んでよかったまち」と感じ、「人が集まるにぎわいのあるまち」となるよう、全力で尼崎市を「次のステージ」に進めてまいります。